

京都支部

大谷大学公開講演会

2025年度共通テーマ「Be Real 真実と現実」

講題

Be Real 真実と現実 ―東本願寺東照宮御霊殿考―

日時

2025年8月24日(日) 13:00～14:20

会場

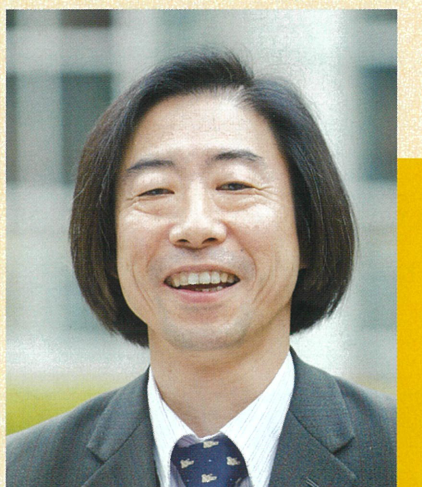
大谷大学

慶間館1階 K101教室

京都市北区小山上総町 京都市営地下鉄「北大路」駅下車

定員 200名

※入場無料 事前申込不要



講師 ひらの としのり
平野 寿則 大谷大学教授

【講師プロフィール】

専門/日本近世史・仏教史

1966(昭和41)年	3月	静岡県に生まれる
1990(平成2)年	3月	大谷大学文学部卒業(史学科)
1992(平成4)年	3月	大谷大学大学院修士課程修了(仏教文化)
1997(平成9)年	3月	大谷大学大学院博士課程満期退学(仏教文化)
2001(平成13)年	3月	大谷大学博士(文学)＜学位取得＞
2003(平成15)年	4月	大谷大学講師
2009(平成21)年	4月	大谷大学准教授
2018(平成30)年	4月	大谷大学教授

【著書・論文】

近世仏教治国論の史料と研究』(共編著・清文堂出版)
『松平開運録』と食行身禄の安民治国論』(大桑齊編『論集仏教土着』所収)
『近世後期における東本願寺と寺内町』(『眞宗研究』眞宗連合學會研究紀要
第五十八輯 眞宗連合學會 所収)
『近世京都における都市開発と新地形成―妙法院と七条新地―』
(『大谷学報』第九十八巻第二号 大谷大学大谷学会 所収)
『幕末の東本願寺と東照宮―東本願寺東照宮御霊殿考―』
(『大谷大学史學論究』第27号 大谷大学文学部歴史学科 所収)

その他

講演概要

文久元年(1861)、幕府は東照宮の尊牌を安置する「別堂」造立を東本願寺に通達した。そこにはどのような思惑があり、東本願寺では、この出来事にどのような意味を見出したのか。今現状の結論について紹介してみたい。

あわせて「私」と「歴史学」の不可分な関係について、あらためて考えてみたい。

主催

大谷大学・大谷大学同窓会京都支部

大谷大学同窓会

検索

<http://www.mujinto-otani.org/info/kouen.html>



1. 大谷大学・大谷大学同窓会では、毎年統一テーマを設定し、全国約80カ所で公開講演会を開催しています。
2. 天候等により、開催を中止する場合がございます。開催中止の場合は、同窓会ホームページでお知らせいたします。

Be Real
寄りそう知性



大谷大学

ご挨拶

京都支部長 福永 荘三

京都支部会員の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

京都支部は全国80支部の中でも最大の支部であり、2025年4月10日現在、9,627名の会員を有します。支部予算の中で支部全会員にご案内も出来ない状況が続いておりますが、近年は同窓会本部より補助を受け、無盡燈と共に皆様のお手元に届けさせていただいております。

京都支部の昨年度の活動報告としては、2024年8月25日(日)に公開講演会を開催し、一楽 真大谷大学学長に、「聞思して遅慮することなかれ」を講題にご講演いただきました。

また、11月9日(土)に開催された「第26回ホームカミングデー」では、同窓会京都支部ブースを会場内に設置し、来場された京都支部の皆様へ新たなコミュニケーションツールとしてLINEグループ「大谷大学同窓会京都支部コミュニケーション」への参加を推進いたしました。ご協力いただいた皆様に京菓子のフィナンシェを手配りし、ホームカミングデーのお手伝いをさせていただきました。

LINEグループのQRコードからグループに参加登録していただければ、同窓会本部や支部の活動等のご案内を差し上げておりますので、是非ご登録ください。

2025年9月8日(土)に開催予定の「第27回ホームカミングデー」にも京都支部ブースを設置いたしますので、お越しになられた節にはどうぞお気軽にお声がけください。

まずは、同窓会京都支部という存在を知っていただくためにも、いろんな手法を考え、活動を通して、広く広報することから挑戦を始めています。

最後に支部会員皆様におかれましては、大谷大学同窓会本部の活動はもとより、支部活動にご協力いただける事を切に願い、ご意見などいただければありがたく思います。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

大谷大学同窓会京都支部活動風景



LINEグループ
「大谷大学同窓会京都支部
コミュニケーション」
※QRコードよりLINEグルー
プにご登録ください。

お問い合わせ先 大谷大学同窓会京都支部長 福永 荘三

メール: otani-kyotoshibu@juzz.net FAX: 075-351-0018 (福永念珠舗内)